

## 第4回「エコシティたかつ」推進会議 摘録（案）

日 時：2008年12月2日（火） 15:00～17:15

場 所：高津区役所 第2会議室

出席者：岸委員長／横山滋副委員長／小島委員／田中委員／住田委員／吉田委員  
横山登委員／伊中委員／若杉委員／三島委員／井坂委員／桑畑委員  
秋元委員／鈴木委員／井澤委員／広瀬委員※高松委員代理／村上委員※堤委員代理  
五十嵐／新井正男／星／中村／新井勇／加藤（事務局）／梶谷（コンサルタント）

### 1. 開会

資料確認を行った。

### 2. 前回会議の振り返り

摘録（資料1）に沿って、前回会議で検討した内容や意見について振り返った。

### 3. 庁内検討委員会の報告

11月21日に行った第1回庁内検討委員会、及びその後の関係部局との調整において、推進会議で検討いただいている内容について確認した（具体的な内容については、議題5の素案の説明の中で行った）。本日の議論を踏まえ、第2回庁内検討委員会を12月5日に行う予定である。

### 4. モデル事業の進捗状況

事務局より「緑のカーテン」コンテスト表彰式とパネル展、学校流域プロジェクト（ビオトープ整備）について報告を行った。

＜「緑のカーテン」コンテスト表彰式＞（参考資料）

10月18日に行われた「市民活動見本市2008」内の「緑のカーテン報告会」で表彰式を行った。受賞者の皆さんから育て方のポイントやゴーヤの料理方法などお話いただいた。

＜「花と緑のパネル展」＞（参考資料）

12月1日～12月5日に、高津区役所1階市民ホールで、「エコシティたかつ」推進事業の取り組みや、「緑のカーテン」大作戦等のパネル展示を行っている。

＜学校流域プロジェクト＞

高津小学校、久地小学校、西梶ヶ谷小学校に下見に行き、出来るところからビオトープ整備を進めていく予定である。田中委員のご協力により、西梶ヶ谷小学校の地形モデルを作っていただいた（参考資料として閲覧）。

## 5. 推進方針素案の検討

前回会議の議論と学識者委員の指摘をもとに作成した素案について事務局より説明をし、その後、内容の確認を行った（以下、意見要旨）。

### <1 「エコシティたかつ」推進方針について>

- ・(1) 2行目 自然環境、社会環境、生活環境に関する緒課題にしてはどうか。
- ・(2) この方針の法的根拠を高めるため、自治基本条例と環境基本条例を反映したものであることを文章に加筆した方が良い。
- ・(3) 対象区域図の多摩川流域がどこを指しているか分かりにくいので、もう少し右へずらした方が良い。
- ・(3) 対象区域図に川を入れた方が良いのでは。
- ・(3) 行政地図をベースに入れても良いと思う。ピックアップされた高津区の中に多摩川流域と鶴見川流域の流域界は入れた方が良い。

### <2 たかつのまち、地球温暖化の現状>

- ・(1) 環境資源はもう少しないのか。入れた方が良いと思う。
- ・(1) 崖線（台地と低地の境目）の写真があったら入れた方が良い。
- ・(1) 動植物や鳥の写真を入れてはどうか。
- ・(1) コラムの小数点の表し方が合っていないのだが、合わせなくて良いのか。  
→出典がそれぞれ違うので確認する。
- ・(1) 湧水のデータについても、表で表した方が良い。
- ・(2) 変遷について、古い写真を載せた方が良いのでは。
- ・(2) 中小企業の拡大の過程について加筆した方が良いと思う。
- ・(2) 区の人口や緑地、田畑の変遷について入れた方が良い。
- ・(2) 「歩きたくなる高津」の中で使っている航空写真を使うなど工夫しては。
- ・(2) 【区民参加のまちづくり】 説明の最後に、これらの取り組みの延長線上に「エコシティたかつ」があることを加筆した方が良い。
- ・(3) 【IPCC シナリオから見る地球環境危機】6行目 気候変動のもたらす豪雨・土砂災害・洪水など悪影響への対応策にしてはどうか。
- ・(3) 【川崎市の温室効果ガス排出量】 川崎市は排出量が減少しているのでその点も述べた方が良いと思う。  
→その点も加筆し、その他のデータについても最新のものに修正する。
- ・(3) 【平均気温の上昇と増加する集中豪雨】 高津区のゲリラ豪雨や浸水被害の状況についても入れてはどうか。
- ・(3) 【平均気温の上昇と増加する集中豪雨】 地球温暖化とヒートアイランドの現状は分けて記述した方が良い。
- ・(3) 【平均気温の上昇と増加する集中豪雨】 ヒートアイランドとの相乗的な～にタイトルを変えてはどうか。

・(3)【平均気温の上昇と増加する集中豪雨】 ヒートアイランドと温暖化の関係性はまだはっきりしておらず、ゲリラ豪雨については、ヒートアイランド（緑地が少ないことや風通しが悪いこと）が大きな原因であると言われている。「これは気候変動が影響するものではなく、ヒートアイランド現象によるものであるが、留意すべき点なので特記する」など文末に加える。

・(3) 熱中症の発生状況も分かれば載せてはどうか。

### <3 「エコシティたかつ」基本理念と基本目標>

・(1) 13 行目 多摩川方向に開けた平坦地ならびにそれら境界の斜面・崖線ベルトで構成され～にしてはどうか。

・(1) 都市社会において人々が自然の賑わいに向き合うことが、「生活の質」を高めることにつながることをきちんと記述した方が良い。

・(2) II 1 行目 丘陵、崖線、谷戸などランドスケープを～にしてはどうか。

・(2) II 7 行目 人工物と自然環境の相対していた関係性を見直すことが大切であり、景観とも関係していく。景観について記述がなかったため、基本目標と基本的な考え方に補足してもらった。II 7 行目について、もう少し分かりやすい文案を考える。

・(2) II 家庭の庭の機能の重要性について加筆してはどうか。

→個人でできるレベルについて記述しても良いかもしれない。

・(2) III 2 行目 災害に適応しうる流域視野の地域の地形や水循環の特性に即した「水災害適応型都市」づくり～にしてはどうか。

### <4 「エコシティたかつ」の実現に向けた行動計画>

・(1) ②6 行目 (16 ページ) の「緑の景観づくり」と 24 ページ【●自然共生型都市再生～】2 行目の「景観行政」と、「景観」について二重に捉えられている。16 ページは「緑の」を省き、24 ページは文脈から「都市景観行政」にするか「景観行政」は省いてはどうか。「自然」について、2 次的なものも含むのかなど人により捉え方が違うと思う。

・(1) ③行政・市民・企業・学校の順と、13 ページ 21 行目の市民、企業、学校、行政の順と違うのだが、どちらが良いか。

→市民・企業・学校・行政の順にする。

・(2)「橘地区の農的資源を活かしたまちづくりの推進」は、重要なプロジェクトだと思うのでリーディングプロジェクトにした方が良いのではないか。

→委員の合意があれば変えたいと思う。

→リーディングプロジェクトにする。

・(2) 推進体制について、誰が中心に進めるか分かりやすくした方が良い。

・(3)「複合型氾濫マップ協働作成」について、協働で行うことは重要であり、防災コミュニティを作っていくことにつながる。

・(3)「生命地域の視点～」について、生命地域を行政領域が分断していることがあり、近

隣の区との連携が必要である。「生命地域」について説明した方が良いのでは。

#### <6 これからの検討課題>

- ・【●自然共生型都市再生～】 まさに総合行政のことである。
- ・【●都市の農的空間～】 橘地区をモデルとして事例を入れてはどうか。農地の市民利用について加筆してはどうか。
- ・【●地域環境を活用した福祉サービスの展開】 全ての人が生活の質を高めることが重要である。環境と福祉をつなげた仕組みやサービスが必要である。
- ・【●地球温暖化に伴う健康リスク等への対応】 地球温暖化が進めば熱中症の学校での対応など、地域保健活動が重要になってくる。

#### <全体への意見>

- ・民地の開発、特に急斜面などの緑地について規制をかけなければ、どんどん緑地が減っていってしまう。
  - ・コミュニティづくりが一番重要なことだと思う。
  - ・区民参加をどのように実現していくか、考えていかななくてはいけない。
  - ・市民活動がどのように組み込まれていくのか、市民一人ひとりがどのように関わっていくのか、何ができるか考えていかななくてはいけない。
  - ・橘地区の農地について緑に重点が置かれているが、食やエネルギーなどの資源の循環についての問題はあまり存在感がないように思う。
- 地産地消についても入っていないのでは。
- 橘地区の農のあるまちづくりについては、JA や農家などと作る委員会が中心となり進めているのだが、地域間コミュニティづくりを重点的に進めている。
- 中期プランなどで、地産地消など農について加筆してはどうか。

#### 6. 市民フォーラムについて

事務局より、市民フォーラムの企画案について説明を行った。また、井坂委員より、温暖化パネルの展示や映像、make the role への参加などについて提案いただいた。

#### 7. 会議のまとめ

学識者委員より、相互の調整を高めることや市民活動の連携の重要性についてコメントをもらった。また、岸委員長より、素案について意見を出し切ってもらったので、それをもとにパブリックコメント案としてまとめたいと、会議のまとめを行った。

#### 8. 次回の会議日程など

次回の会議について、2月下旬で調整する。

以上